



お住まいの地域のサービスやプログラムに関する情報および援助に関しては、1(800) 510-2020へお問い合わせください。

## 高齢者に役立つ情報

### 野火の対策法

### 火が家に及ぶ前に

- ❖ 避難しましょう。 ペットと家族全員を避難させます。 医療的に制限がある人や体が不自由な人、高齢者はすぐ、避難しましょう。
- ❖ 防護衣類を着ましょう。
- ❖ 換気窓、窓、扉、ペット用ドアなどを閉めます。 可燃性の幕やカーテンは取り外します。 シャッター や ブラインド、雨戸などを全て閉めて、放射熱を低減させます。
- ❖ 家の中の各ドアを閉じます。 暖炉は、煙突部分のダンパーは開けますが、スクリーン扉は閉じます。
- ❖ ガス、プロパンガス、灯油などの元栓を締めます。

- ❖ お住まいの地域のサービスやプログラムに関する情報および援助に関しては、1(800) 510-2020へお問い合わせください。
- ❖ 自動ガレージドア開閉器は全て電源を切って、停電になっても手動でドアが開けられるようにしましょう。 全てのガレージドアを閉めます。
- ❖ 貴重な書類や思い出の品、その他「なくてはならないもの」はガレージ内の車の中に入れ、いつでも出発できるようにしましょう。 この段階でまだ一緒にいるペットも全部、車の中に入れる必要があります。 医薬品や眼鏡などの補助器具を忘れないように。
- ❖ 家の外の電灯を点灯し、家の中の全ての各部屋も電灯をつけ、濃い煙の中でも家が見えやすいようにしましょう。
- ❖ 戸締りはしてはいけません。 ドアや窓は閉じますが、施錠してはいけません。 消防士が消火のために、急遽家の中に入る必要が生じる可能性もあります。 当該地域は隔離され、郡保安官代理(Sheriff's Deputies)または警察によりパトロールされます。
- ❖ 家にいて、逃げ場を失った場合は、気を落ち着かせてください。 野火の前線が迫ってきたら、家の中に入ります。 家の中で、助かることが出来ます。 野火は、家が全焼する前に過ぎ去ります。

# 高齢者に役立つ情報

## 野火の対策法

### 車の中で生き残る

- ❖ これは危険ですので非常時のみとるべき手段ですが、車の中に残ることで、生き残ることが出来ます。燃え盛る火から走って逃げるよりも、はるかに危険性は少ないです。車窓はきっちりと閉め、換気口も閉めましょう。ヘッドライトを点灯して、ゆっくり運転しましょう。他の車に注意し、濃い煙の中は運転してはいけません。停車しなければならない場合は、生い茂った木や茂みから離れて駐車します。ヘッドライトは点灯し、エンジンは切れります。
- ❖ 床にしゃがむか伏せるかし、毛布やコートを被ります。主要な猛火が過ぎ去るまで、車内で待ちましょう。車の中から出てはいけません。走って逃げないこと！

### 戸外で野火に出くわしたら

- ❖ 臨時避難場所として最適なのは、野火の燃料となるものが少ない場所にある、地面の凹部です。野火が接近中に凹部の周辺から燃料を撤去し、凹部の中でうつぶせになり、身を覆います。近くに道路がある場合は、切り通しにそって身を伏せるか、坂上の溝の中に身を伏せましょう。火の熱から身を守ってくれるものは何でもよいので、それで身を覆いましょう。